

開催案内：2025年 第1回 医療放射線技術研究会
「放射線治療と免疫効果、治療効果画像解析技術」

医療放射線技術研究会では、放射線物理の医療応用について情報交換することを目的とし、最新の医療放射線技術の紹介をはじめ、新技術の発展に伴い生じた医療現場のニーズとそれを解決する放射線検出器の研究シーズ等に関する多くの研究会を企画して参りました。

2025年第1回のテーマは「放射線治療と免疫効果、治療効果画像解析技術」です。がんの三大療法である手術治療、抗がん剤治療、放射線治療に加え、新たな治療法の一つとして免疫治療が注目されています。免疫治療は放射線治療との組み合わせにより、相乗的に治療効果を向上させる可能性があり、様々な研究が進んでいます。また、様々な医療画像データからAIなどを駆使した治療効果画像解析技術の研究が盛んに行われております。本研究会では、これらの研究に尽力されている先生方にご講演をお願いし、最新の放射線治療の知識の共有と今後の発展などを議論したいと考えております。

臨床現場に携わる医師・診療放射線技師・医学物理士から放射線医療に関する研究者といった専門家から学生や興味を持つ方々まで広くご参加をお待ちしています。本シンポジウムが放射線医療関連の専門家や学生等の知識の向上、専門医療人の人材育成の一助となることを期待しております。

【開催日】2025年7月12日(土)

【場 所】大阪大学中之島センター セミナー室 7A&B (ハイブリッド開催予定)

【参加費】無料

【定 員】現地参加-80名程度

【申 込】必要

- 締切：2025年6月23日(月) 正午
 - 申込フォーム：<https://forms.gle/XsbiV3Bq4UUsUctg8>
 - 完了後、確認メールが記入したメールアドレスに届きますので、届かない方は、勝木：skatsuki●sahs.med.osaka-u.ac.jp までご連絡ください(●を@に変えてお送りください)

【主 催】

- ・応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会
- ・がんプロフェッショナル養成プラン (がんプロ)
大阪大学拠点「地域に生き未来に繋ぐ高度がん医療人の養成」

【備考】

医学物理士認定機構の業績評価点の対象として、出席証明書を発行予定
(認定番号：**準備中**、認定コード：F1/F2) *現地参加者のみ

【世話人】松本真之介（東京都立大学）、カンハンギョ（QST 量医研）
眞正浄光（東京都立大学）、西尾禎治（大阪大学）、勝木翔平（大阪大学）

【プログラム】

11:30-12:00	現地受付
12:00-12:05	開会の辞：西尾 禎治（大阪大学）
12:05-12:45	講演 1「アブスコパル効果誘導を目指した放射線免疫療法の最適化」
	(講演 35 分、質疑 5 分)
	講師：勝木 翔平 先生（大阪大学） 座長：高橋 豊
12:45-13:25	講演 2「放射線治療における免疫の関わり：X線と重粒子線の比較」
	(講演 35 分、質疑 5 分)
	講師：武島 嗣英 先生（QST） 座長：高橋 豊
13:25-14:05	講演 3「Radiomics 解析による治療効果予測と予測因子解明へ向けて」
	(講演 35 分、質疑 5 分)
	講師：河原 大輔 先生（広島大学） 座長：西尾 禎治
14:05-14:20	休憩（15分）
14:20-15:00	講演 4「がんの hallmarks からトポロジー穴解析へ」
	(講演 35 分、質疑 5 分)
	講師：有村 秀孝 先生（九州大学） 座長：西尾 禎治

15:00-15:40	講演 5「放射線がん治療の治療効果最大化を目指して：超高線量率照射、金ナノ粒子増感剤の使用など、最近の取り組み」
	(講演 35 分、質疑 5 分)
	講師：楠本 多聞 先生 (QST) 座長：西尾 禎治
15:40-15:55	講演 6「細胞コロニー画像解析システムに関する研究」
	(講演 12 分、各質疑 3 分)
	講師：袴田 健太郎 先生 (大阪大学) 座長：勝木 翔平
15:55-16:10	講演 7「放射線が免疫細胞の生残と老化に与える影響」
	(講演 12 分、各質疑 3 分)
	講師：川口 将 先生 (大阪大学) 座長：勝木 翔平
16:10-16:15	閉会の辞：豊川 秀訓 (甲南大学、放射線分科会幹事長)

* 閉会後に意見交換会を予定しております。(定員あり)